

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
 ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

アルツハイマー型認知症とは？

アルツハイマー型認知症とは、脳の神経細胞が徐々に減っていく進行性の病気で認知症全体の6割を占めます。

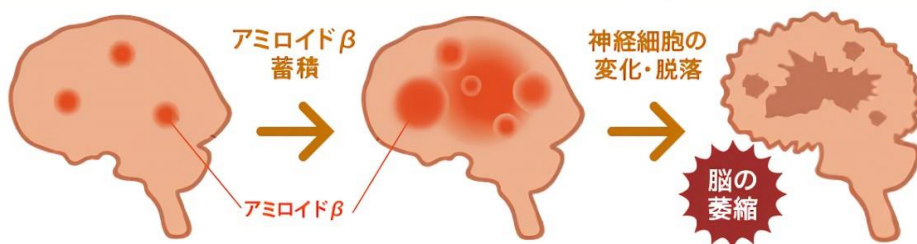
発症の原因の1つとしてアミロイドβというたんぱく質の一種があげられます。脳の神経細胞の外側に蓄積し老人斑というシミのようなものができます。さらにタウ蛋白という

ごみのような物質が脳神経細胞の中に蓄積します。それにより神経細胞が死滅してアルツハイマー型認知症が発症するといわれています。加齢はアルツハイマー型認知症の最大の要因です。また運動や食事、喫煙などの生活習慣の乱れもアルツハイマー型認知症の発症リスクを高めることが知られています。

老人斑神経原線維変化

神経細胞の脱落
神経伝達物質の異常

大脳皮質の萎縮



◆症状

アルツハイマー型認知症の人に最も多くみられる症状がもの忘れ(記憶障害)です。ただし、加齢によるもの忘れとは性質が大きく異なります。

認知機能が低下し、少し前のことや出来事そのものを忘れてしまう記憶障害、判断力や言語の理解力の低下などがみられます。

	加齢による物忘れ	認知症
原因	脳の生理的な老化	脳の神経細胞の変性や脱落
物忘れ	体験したことの一部を忘れる	体験したことを丸ごと忘れる
症状の進行	あまり進行しない	だんだん進行する
判断力	低下しない	低下する
自覚	忘れやすいと自覚している	忘れたことの自覚がない
日常生活	支障はない	支障をきたす

◆検査と診断

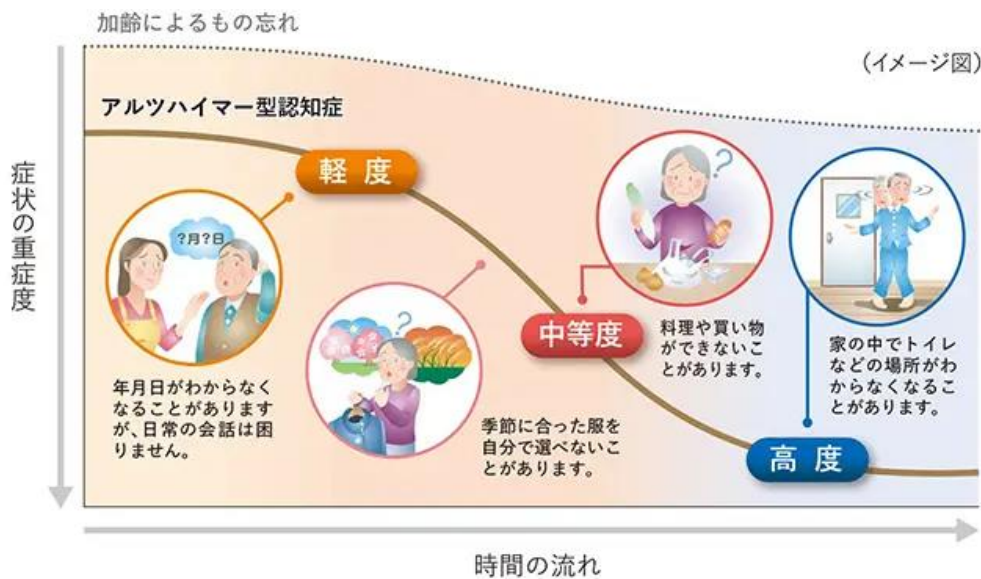
診断は、問診と詳細な検査にもとづいて行われます。問診では、現在の症状だけでなく生活状況やこれまでの病歴なども確認します。検査は、医師の質問に回答する形式の認知機能検査、脳の形態などを確認する画像検査を行います。



その他:イライラ、興奮、暴力行為、妄想、うつ状態、自覚性低下 など

◆経過:発症しても、工夫次第で自立した生活が可能です。

アルツハイマー型認知症は、症状が徐々にすすんでいくのが特徴です。治療薬やケアで進行を遅らせることで、軽度や中等度のままで人生を全うする人が増えました。



◆治療:リハビリや薬で進行を遅らせることが期待できます。

診断されてからの平均生存期間はおよそ10年とされていますが、最近は罹病期間がより長くなったとする報告もあります。

<非薬物治療・認知リハビリテーション>

運動療法や回想法などの非薬物療法、個々に合わせたプログラムによる認知リハビリテーションを行うことで、行動・心理症状の改善が期待されます。

<薬物治療>

アルツハイマー型認知症を完全に治す薬はありませんが、進行を遅らせる効果が期待できる抗認知症薬を用いる場合があります。国内では3種類のコリンエステラーゼ阻害薬と1種類のNMDA受容体拮抗薬が承認を受けています。最近アミロイドβを取り除く作用のある新薬が発売予定となり話題となっています。

種類	はたらき	成分	薬の分類
コリンエステラーゼ阻害薬	脳内のアセチルコリンという物質の量を増やして、脳の働きを元気にする	ドネペジル ガランタミン リバスチグミン	内服薬・外用薬
NMDA受容体拮抗薬	多く出すぎってしまった脳内のグルタミン酸という物質の働きを抑えて、神経を守る	メマンチン	内服薬のみ

◆最後に

認知症になってしまったからといって、何もできなくなってしまうわけではありません。症状が軽度の初期段階であれば自分でできることもたくさんあります。また、適切な薬物治療により病気の進行を遅らせることができることもわかっています。物忘れが気になって不安に思うことがありましたら、お気軽に専門医にご相談下さい。